

福岡赤十字病院

病院紹介および外国人患者受入体制について

福岡赤十字病院

杉原 大輔



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

福岡赤十字病院

病院紹介

●福岡赤十字病院

- ・住所: 〒815-8555
福岡市南区大楠3丁目1番1号
- ・院長: 中房 祐司
- ・Tel: 0570-03-1211
Fax: 092-522-3066

●概要

- ・許可病床数: 511床
- ・診療科目: 36診療科
- ・スタッフ・人員配置数: 常勤1,115名、非常勤51名
- ・施設設備: 手術支援ロボット・ダビンチXiなど
- ・施設基準: 急性期一般入院料1
急性期充実体制加算
特定集中治療室管理料3
ハイケアユニット入院医療管理料1
小児入院医療管理料3など
基本診療料: 40項目
特掲診療料: 152項目
- ・診療の特徴: 臨床研修指定病院、救急告示病院 (二次)
がん診療連携拠点病院、災害拠点病院
地域医療支援病院、DPC対象病院
第二種感染症指定医療機関

●外国人患者受入に関する体制

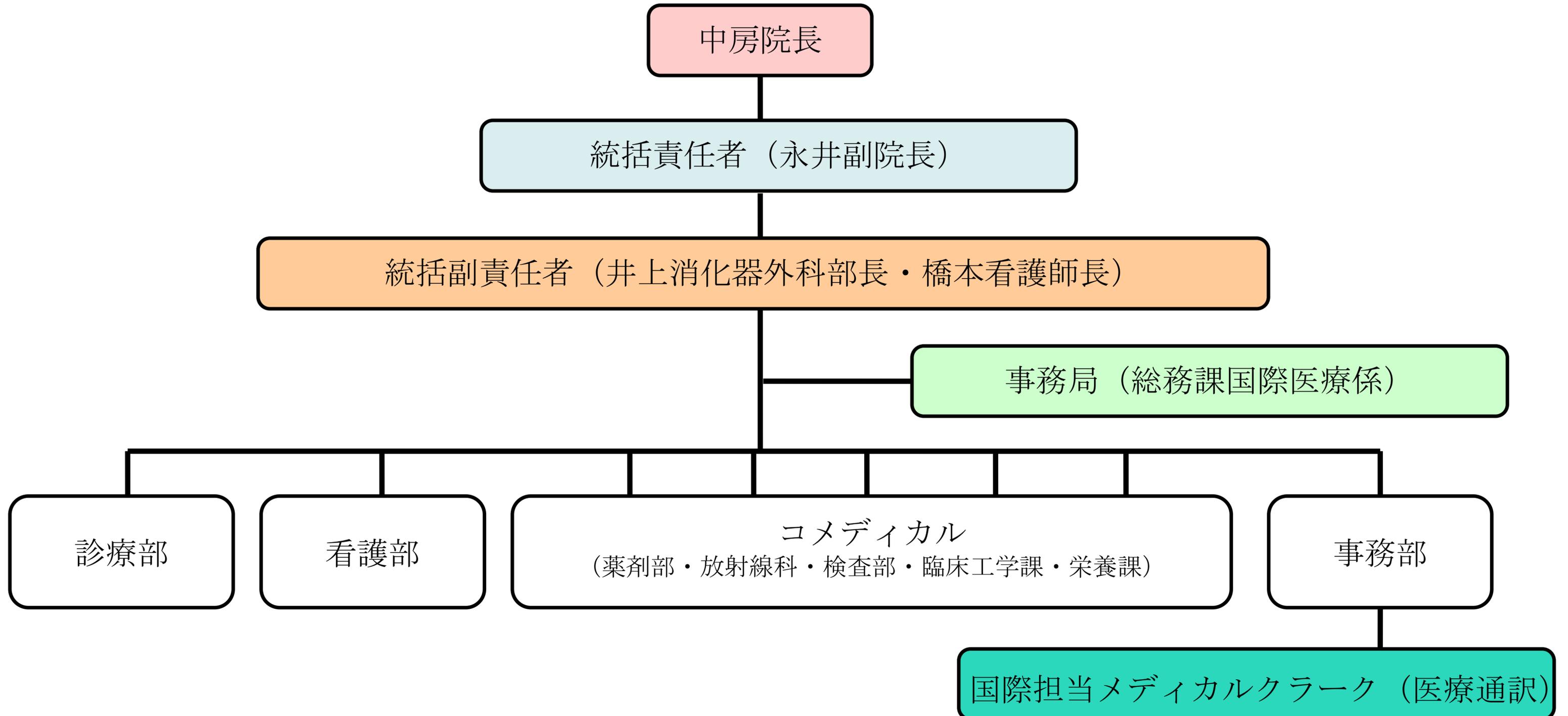
- ・外国人患者受入れ医療機関認証制度(JMIP)認証
- ・平日時間内: 院内通訳者(英語・フランス語)を配置
その他は多言語通訳タブレット等にて対応
- ・休日夜間帯: 多言語通訳タブレットにて対応
[中国語、ネパール語等を含む15言語 24時間365日対応]
- ・多言語化された案内表示の設置
- ・宗教などにより制限される食事への対応等



JMIP受審のについて

- ・当院では外国人患者の増加に伴い、国際活動推進委員会を設け、外国人患者が安心して医療を受けられるよう、2019年にJMIP(外国人患者受け入れ医療機関認証制度)を受審した。
- ・2022年に更新し、通訳ボランティア、通訳ツールの整備、案内版・ホームページの多言語化など、さまざまな取り組みを行ってきた。

国際活動推進委員会 (JMIP受審プロジェクトチーム)

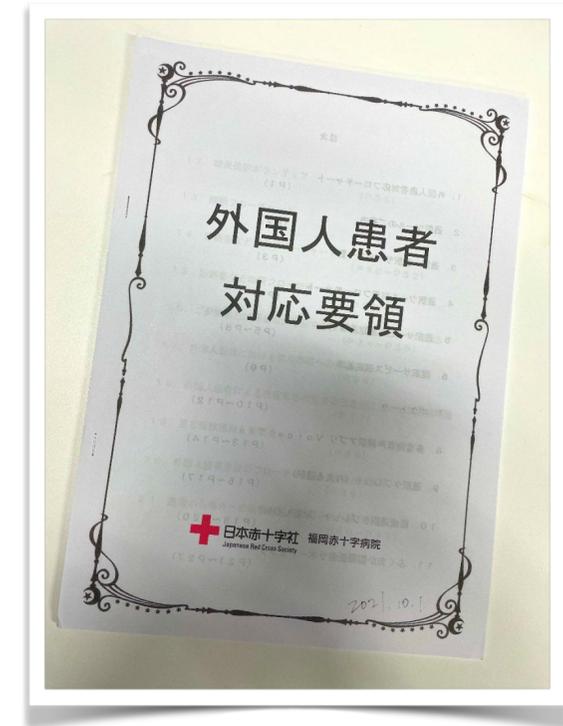


当院の外国籍患者診療方針

- ❖ 地域に貢献する急性期医療機関として、言語や文化の異なる外国籍患者でも安心して受診できる環境を整備する
- ❖ アジアへの玄関口の都市として特にアジア諸国、中東諸国出身の在住者への対応力を強化する
- ❖ 法令や社会情勢を把握し、未収金や公的健康保険への非正規ルートの加入問題に対して適正に対処する
- ❖ 病院全体で対応できるよう外国人患者に関する問題に対処するためのシステムを構築し、継続的に改善する

当院の取り組み①

- 院内相談窓口の一本化(総務課)
- 外国人患者対応のマニュアルを各部署に配置
- 通訳体制の整備
- 在留資格や支払い方法に関する知識の集積
- 国際活動推進委員会での定期的な協議と各部署への問題の周知
- 外国人支援の専門家(行政書士)を有するNPOとの連携



特定非営利活動法人

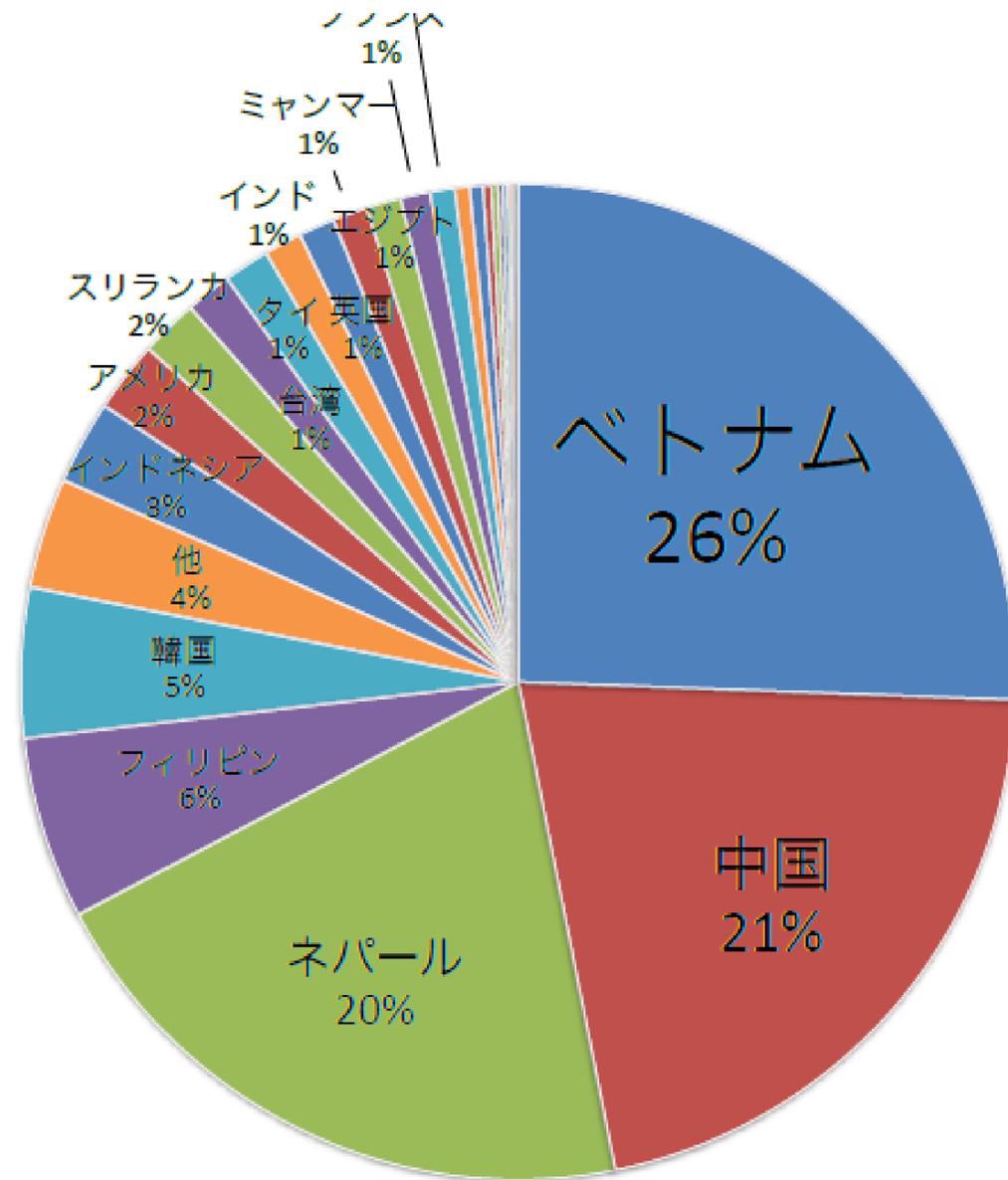
グローバル ライフ サポート センター

<https://www.npo-global.jp>

外国人患者の受け入れ状況

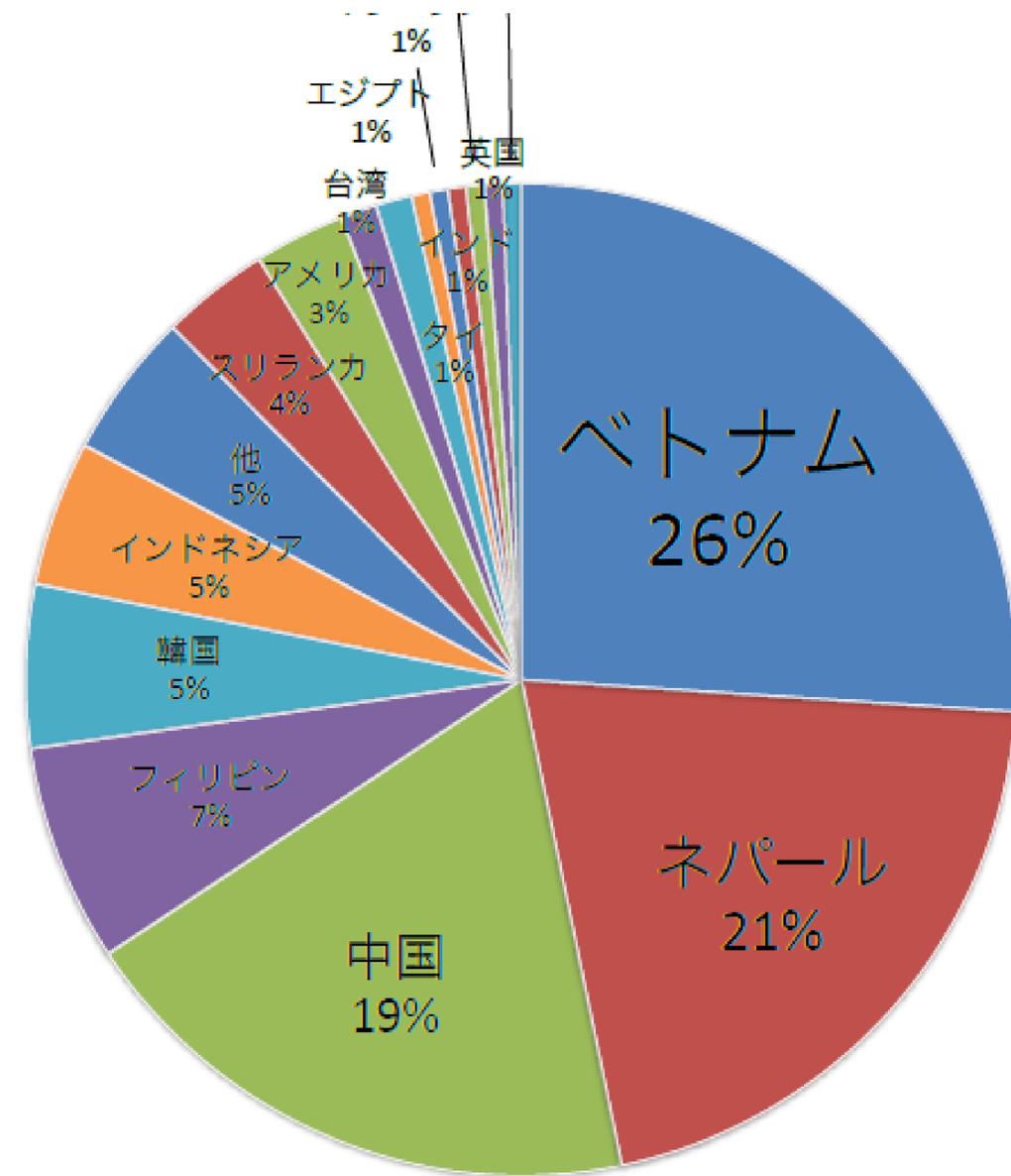
福岡赤十字病院 外国人患者数

外来 2019年度 1,497人 (全体 224,152人) → 2021年度 1,876人 (全体 229,518人)
 新入院 2019年度 139人 (全体 15,681人) → 2021年度 170人 (全体 15,255人)



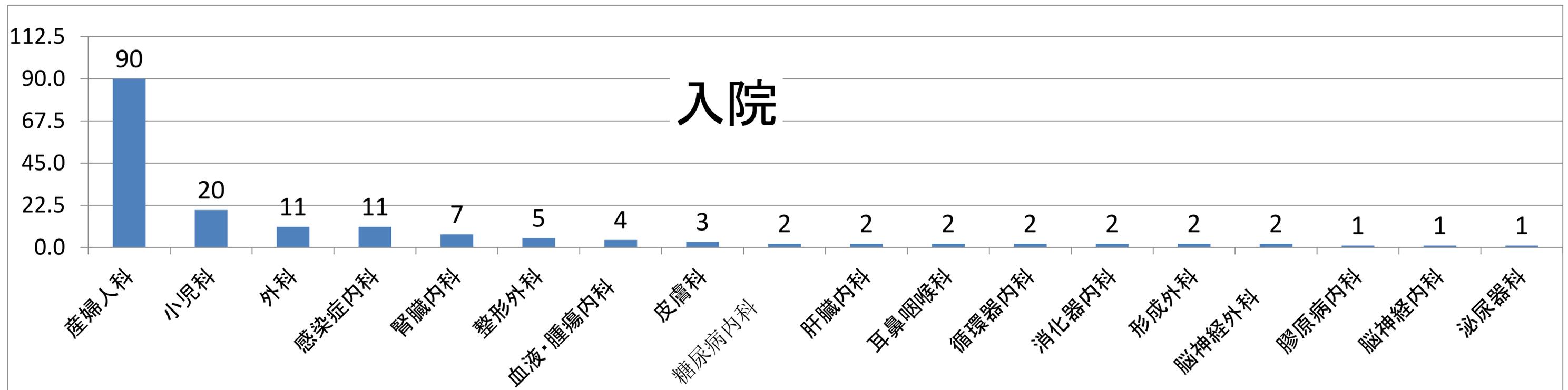
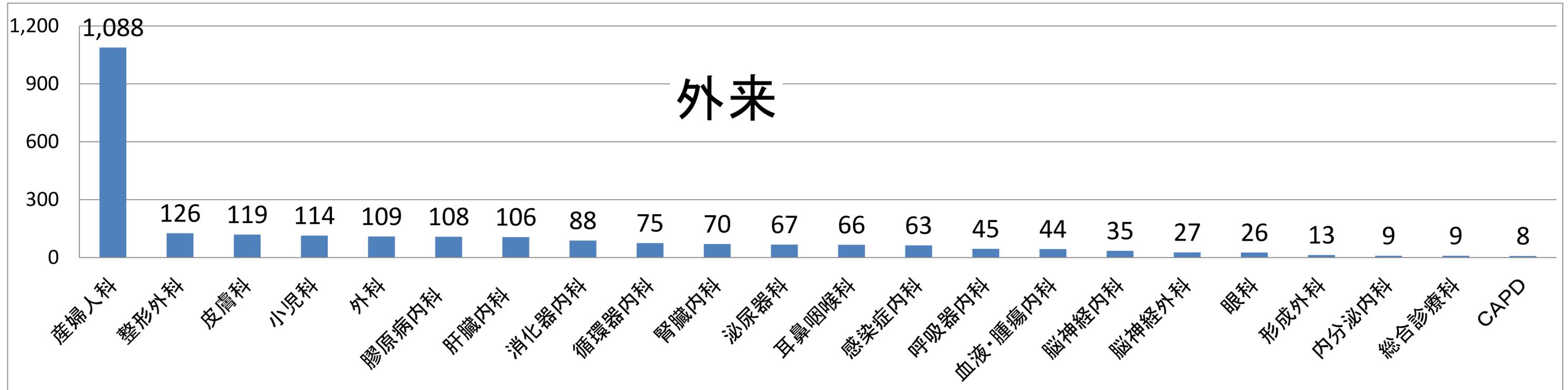
外来: 全体の0.8%

2021年



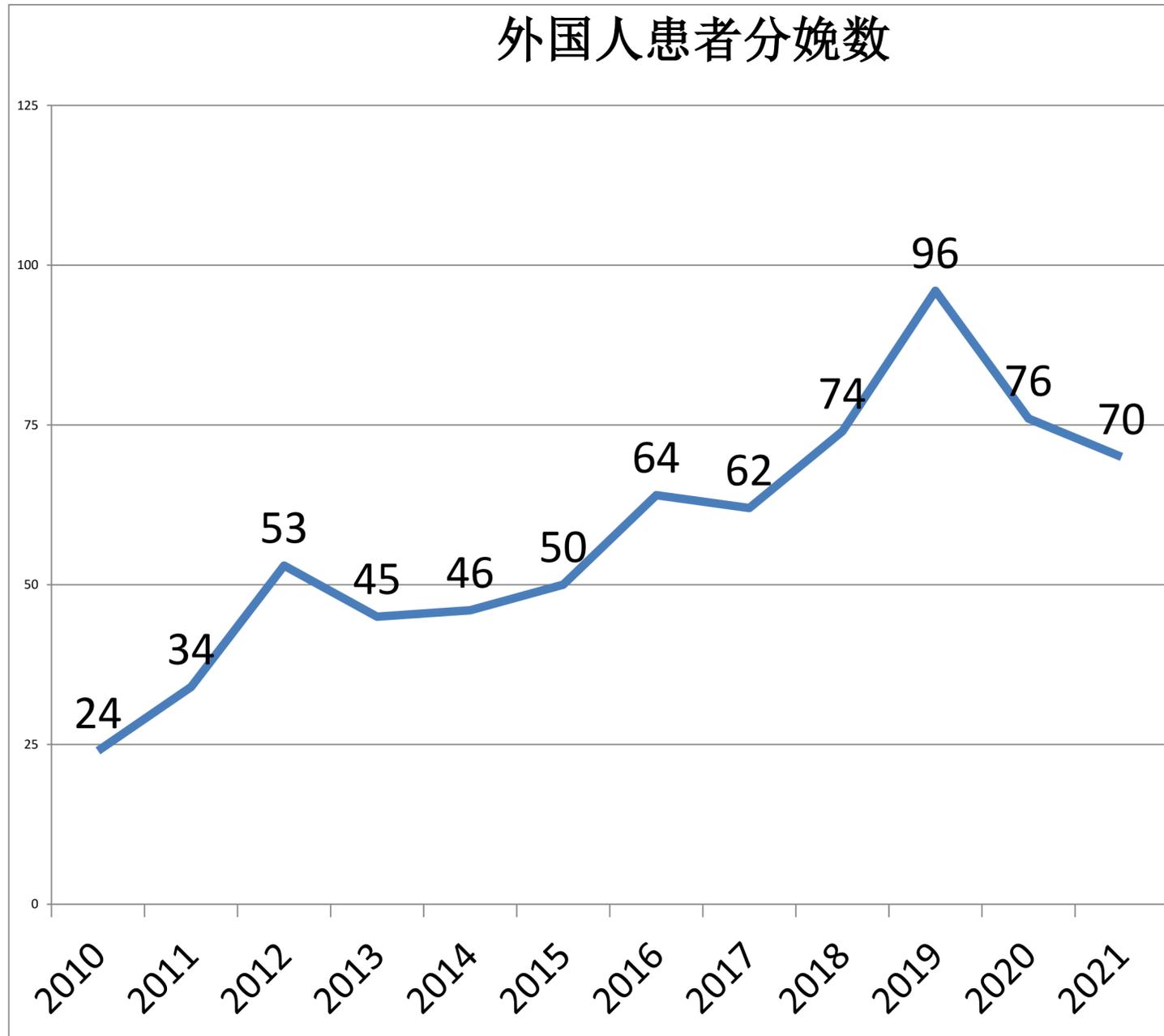
入院: 全体の1.1%

診療科別外国人患者数(2021年度)

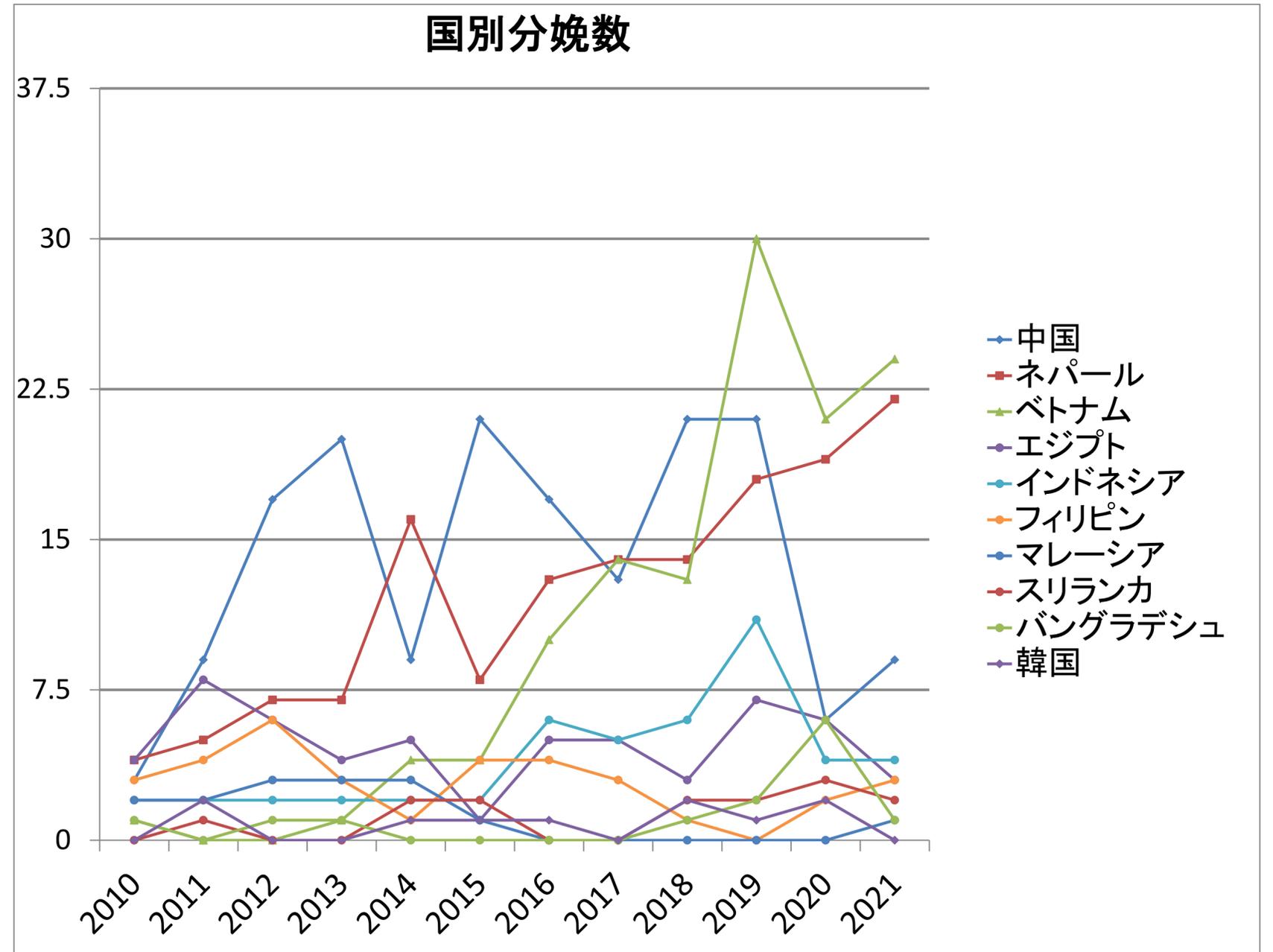


当院産科における外国人患者分娩数

外国人患者分娩数



国別分娩数

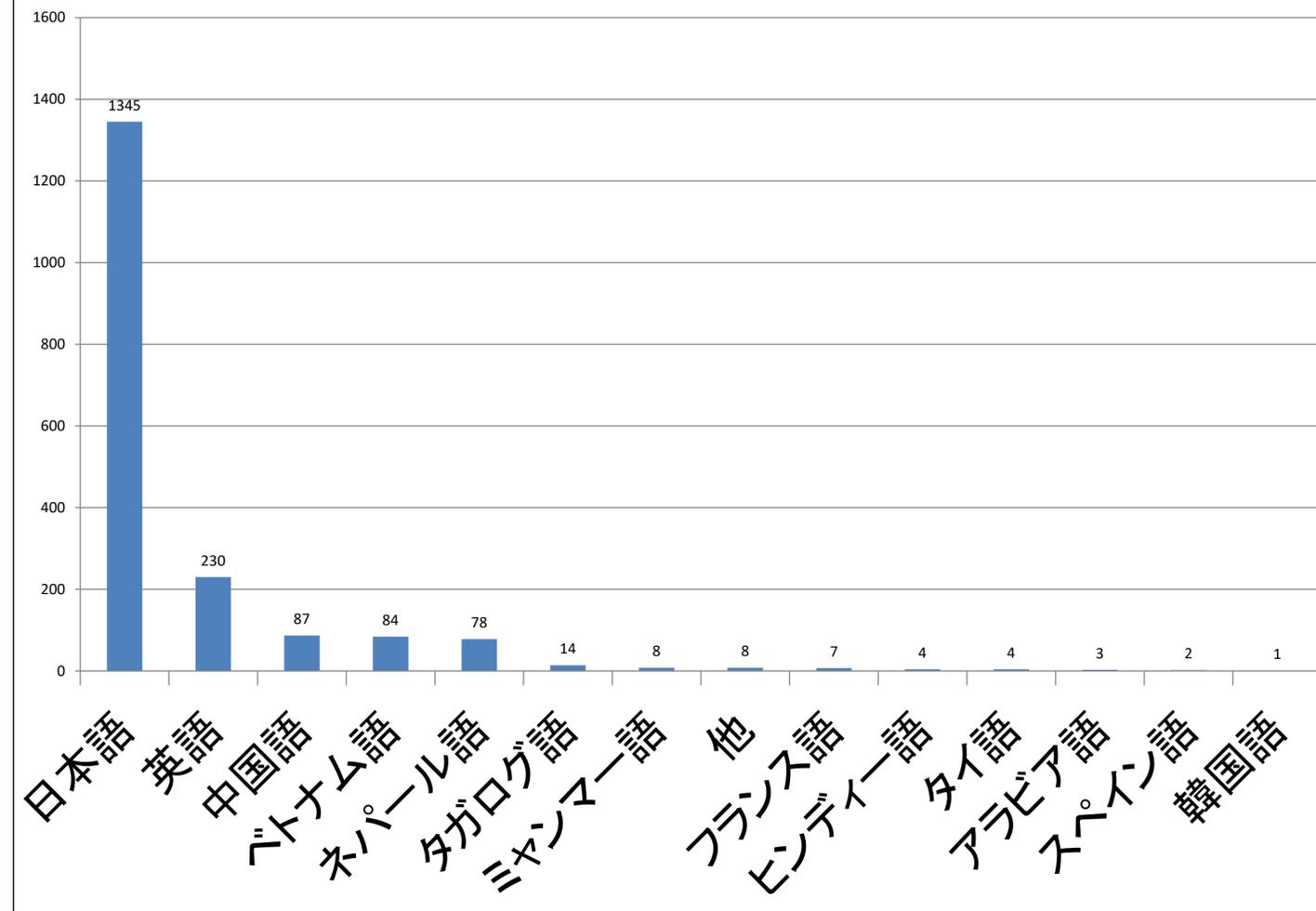


2008年 「留学生30万人計画」

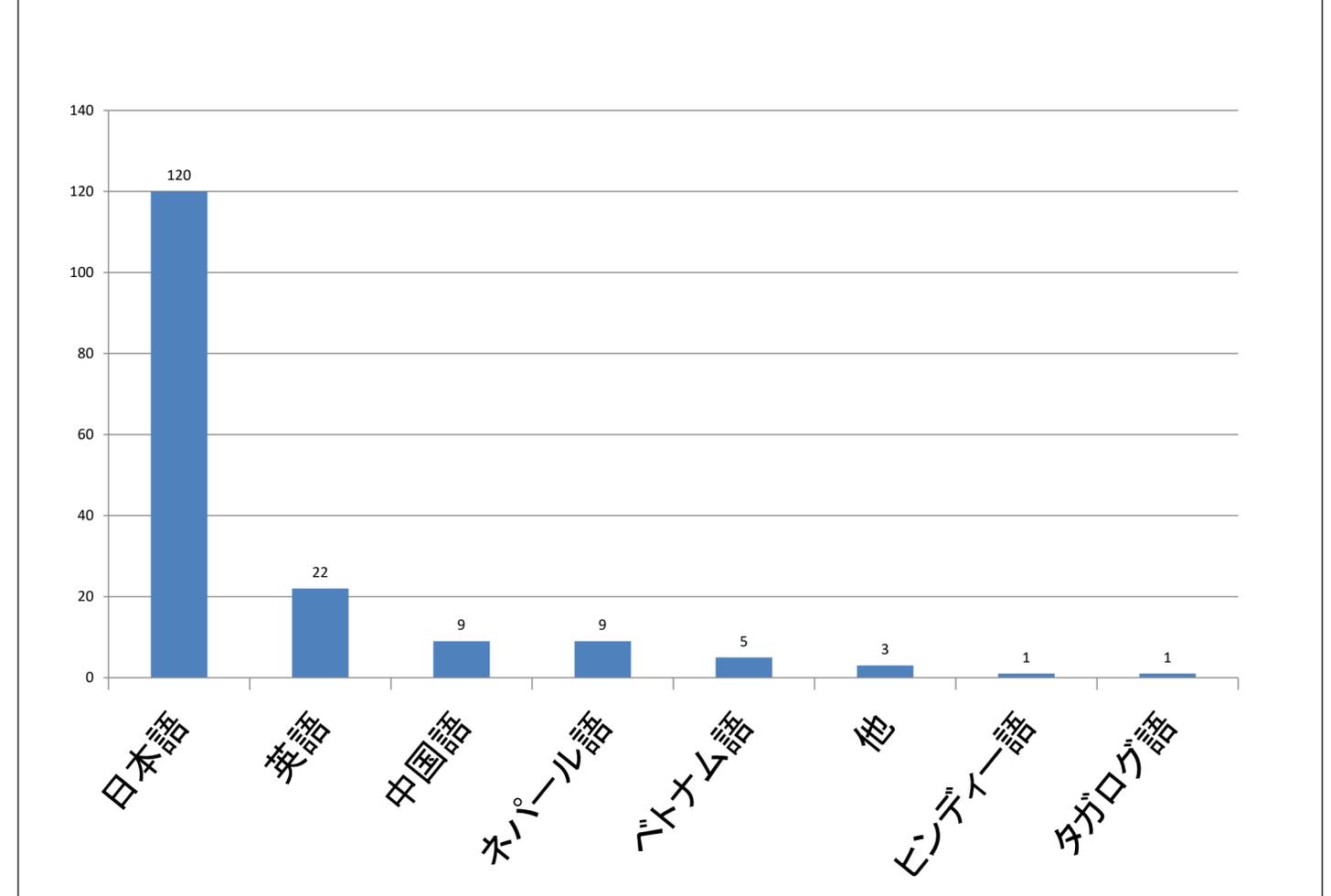
2017年11月 「外国人の技能実習の適正な実務及び技能実習生の保護に関する法律（技能実習法）」 施行

対応言語別 外国人患者数

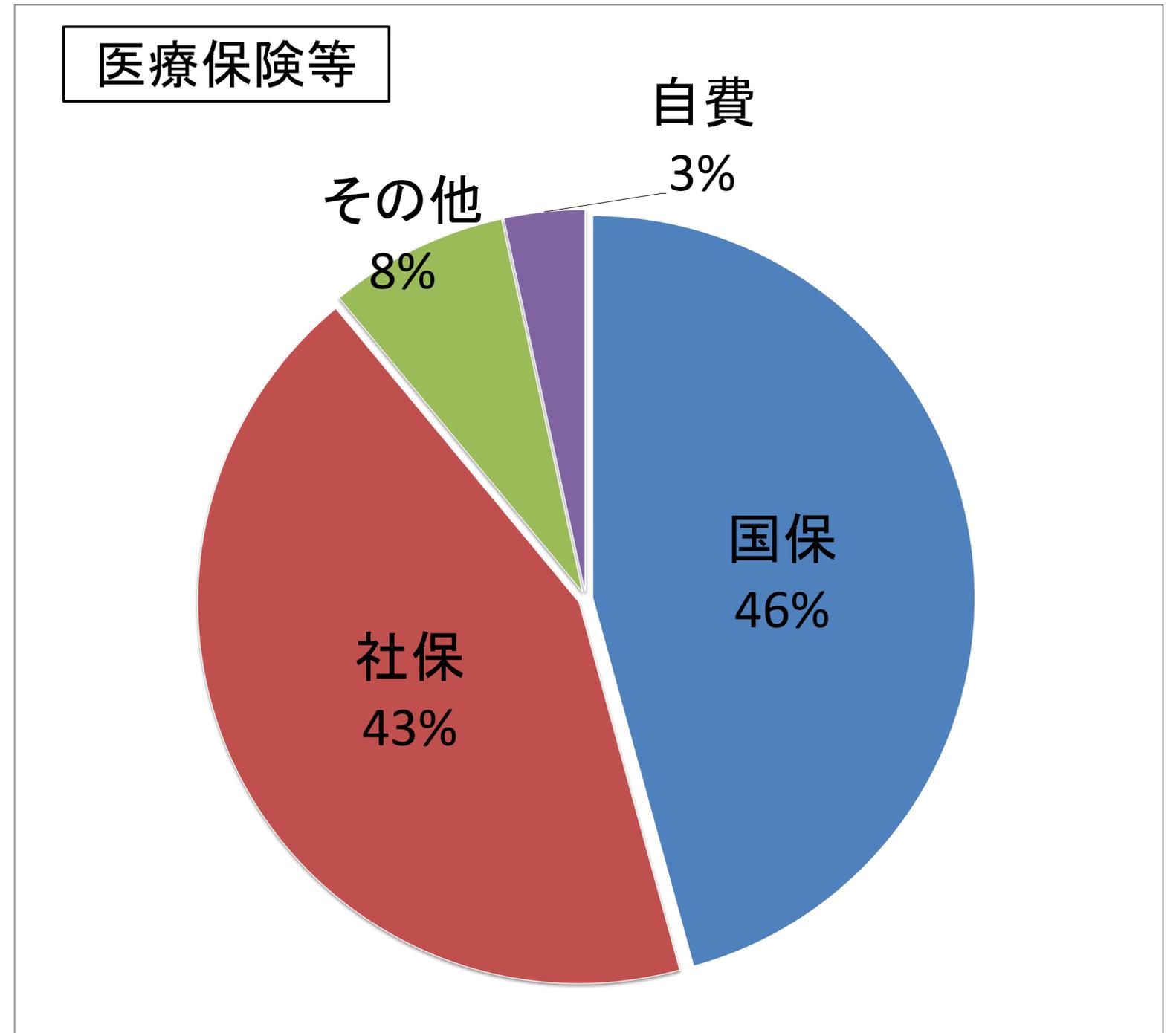
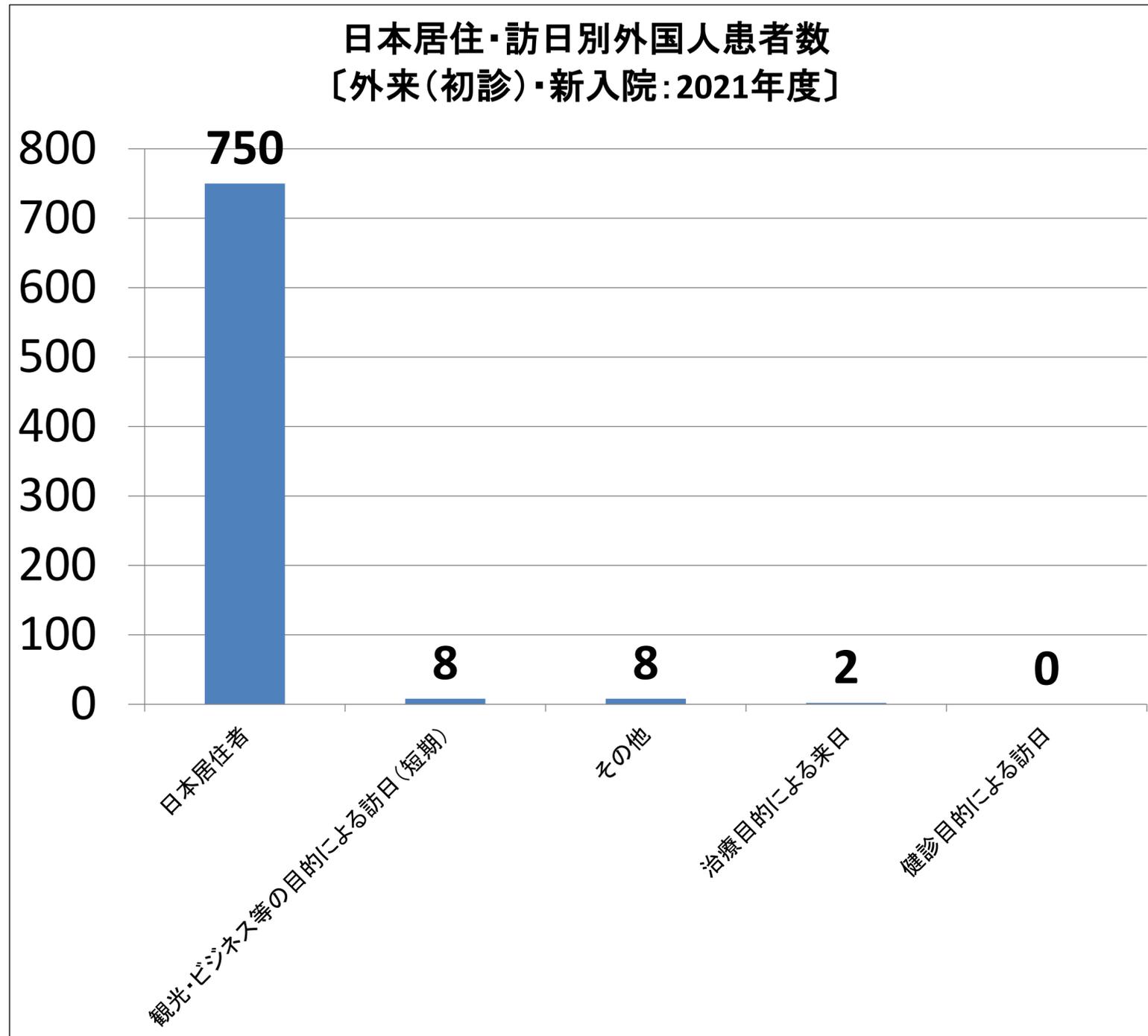
(外来:2021年度)



(入院:2021年度)



滞在目的別・医療保険別





日本赤十字社

Japanese Red Cross Society

福岡赤十字病院